

月刊 ひでかひ



6
2011

5月18日に初台 The DOORS にて「みんなの A.I.S.A(第6回)」の公開放送が行われ、制服向上委員会が出演しました。この日はアイドルフェスティバル直前でライブゲストも盛りだくさんで、会場は超満員になりました。7組中5番目に登場。参加メンバーは杏奈・花梨・優香・百加・美沙希・美輝・愛沙・れいか・もなかの9名。まずは『TVにさようなら』を披露します。今回のMCを務める掟ポルシェさんから「紅白歌合戦に出てくださいと頼まれたら？」と振られて、「……、出ます」と杏奈ちゃん(^^)。返答に少し困っていたようだ。メンバー紹介は名前に年齢・学年を。言い終わって突然「平均年齢は？」と聞かれてしばらく間が開きます。前に計算したけれど出てこなかったと百加ちゃん。「目指しているアーティストは？」の問いに、「歴代の先輩を尊敬しているので、1期生の先輩を目指したい」と杏奈ちゃん。更に答えに難しい質問が続きますが、「SKiを好きだといってくれる方は誰でも好き～」と百加ちゃん。優等生発言に拍手が湧き上がりました。続けて『うちまたブギー』、『クルクルハンカチーフ』を披露して、ステージを後にしました。

5月19日は「Happy Thursday Vol.15」が行われました。今回も入場時および退場時にはぬくもり握手会が行われました。『私がSKiメンバーの中で一番だと思うこと』を言いながらメンバー紹介。「中身が一番オトナだと思う」と花梨ちゃん。「SKiのレパトリーを、この中では一番歌えると思う」と杏奈ちゃん。「一番前髪が長い」と美輝ちゃん。優花ちゃんは「一番ネガティブだと思う」とか。みずきちゃんは「一番動物が大好き」とのこと。誰よりも笑顔が一番だと思うと美沙希ちゃん。「SKi最年少」とれいかちゃん。もなかちゃんは「口笛が一番上手に吹ける」そう。私が一番可愛いと思います！」と言い切る百加ちゃん(^^;)。愛沙ちゃんは「アニメが一番好き」だそう。『はんぶんこ』の作詞にはだいぶ苦労したと百加ちゃん。何を題材にしようかと思って、パッと浮かんだのがアイスをはんぶんこして仲直りをしたこととか。大切な友達を浮かべて聴いて欲しいとのことでした。今回も『もなかの美味しい話』コーナーが行われ、先輩たちを質問攻めにします。まずはれいかちゃん。今までハムスター、亀、猫を飼ったことがあるけれど、個人的には犬が好きとか。猫も好きだけれど、引っ掻いたりするのが苦手のような。来年は受験生になるのが悩みとのことですが、「難しくなかったですよ」ともなかちゃんにアドバイスを受けて気が楽になったようだ。続いて花梨ちゃん。小さい頃からダンスや歌が好きで、みなさんを元気にさせられると良いな？と思ってアイドルの道へ進んだとのこと。モーニング娘。への憧れもあったようだ。美沙希ちゃんへの質問は「傘の色」(^^;)。折り畳みは黒の水玉で、普通の傘は青色とか。百加ちゃんの服の選び方は、母とお店に行き気に入った服を並べて、「せ～の～」で指を刺して決めるとか。続いて、新人さんの中村菜月ちゃんが登場。1998年10月23日生まれの12歳(中二)。趣味は歴史で、戦国時代にハマっているとのこと。ペットは猫を飼っているそう。特技はものまねで、『クレヨンしんちゃん』のぼーちゃんを披露。ダンスは苦手ですが負けずに頑張っていきたいとのことでした。



みずき・もなか・美沙希・れいか・菜月
花梨・愛沙・杏奈・百加・優花・美輝

5月21日に日比谷野外大音楽堂にて「野音 DE 撮影会」が行われました。入り口で受付した後、その場で待機。しばらくして、スタッフに誘導されて大音楽堂に入ります。会場では、この後行われる「アイドル・フェスティバル」の準備に忙しそうな雰囲気。そんな中、メンバーたちは観客席後方通路の壁沿いにスタンバイ。すぐにでも撮影を始められる感じですが、お客さんが荷物を置いてしばらくはトークタイムに。ライブの意気込みなどを語り合いました。朝の撮影会なので、朝食を抜いたメンバーが多いと思いきや、しっかりと食べてきたようだ。鰻を食べてきたと杏奈ちゃん。昨晚食べられなかったのが朝食になったそう。全然気にしていないとのこと、今日の調子も鰻登りかな？。もなかちゃんはパン。舞ちゃんは煮物。でも、例のお雑煮ではないそう(笑)。くるみちゃんは朝食抜きとか。優香ちゃんもほとんど食べていなくて、「撮影会前だから？」と聞くと、「違いますよ！」よ全否定(Λ;)。「魅せるところないじゃないですか？」と、それが理由ではないようだ。愛沙ちゃんも時間がなくて、母に髪を整えてもらいながらドーナツを食べたそう。美輝ちゃんはパンを2枚。6枚切りだそうで、「がっつり食べました」と美輝ちゃん。「あれ、なんだっけ？」とれいかちゃん。「起こされた記憶もない…」とのことで、まだ寝ぼけている様子(Λ;)。花梨ちゃんはおにぎりとのこと。みずきちゃんはフランスパン。美沙希ちゃんはクロワッサンとのことでした。撮影会はソロ30分、ペアショット15分間と、たっぷり楽しく行われました。



加藤舞 京本百加 後藤もなか 小川杏奈
相澤美沙希 菅野みずき 清水花梨 藤宮れいか 斎藤美輝 宮野愛沙 星野くるみ 香取優香

同日に「アイドル・フェスティバル in ヒビヤ」が昼・夜の2公演行われました。入場時にはぬくもり大握手会が行われ、SKiのメンバーの他、AeLL.さんやピース×ピース他のみなさんたちも参加して、かなりの行列になっていました。昼公演はたっぷり押してスタートします。出演者は曲をTVサイズにしたり、曲数を少なめにして時間を調整していたようだ。制服向上委員会は6組中3番目に登場。参加メンバーは杏奈・花梨・優香・百加・美沙希・美輝・愛沙・れいか・みずき・もなかの10名。でもメンバー紹介をカットしていたので、初めてのお客さんにアピール出来なかったのでは？。『クルクルハンカチーフ』『うちまたブギー』『名もなき声に』の3曲を披露しました。

夜の部は6組中2番目に登場。闇が訪れる直前ということで、サイリウムを構えた“光の軍団”は手持ち無沙汰だったようだ(Λ;)。参加メンバーは杏奈・花梨・優香・百加・美沙希・美輝・愛沙・れいか・みずき・結菜・舞・くるみ・もなかの12名。『清く正しく美しく』『TVにさようなら』『クルクルハンカチーフ』『SKiのテーマ』の4曲を披露しました。最後は「脱原発・脱AKB宣言」をして、会場を驚かせていました。司会は吉田豪さんと橋本美香ちゃん。「気になるアイドルは？」と聞かれて、「歴代の先輩たちが目標」と杏奈ちゃん。他のグループには、気が回らないようでした…(Λ;)。

5月25日は「みんなのA.I.S.A(第7回)」の公開放送。5組中3番目に登場しました。参加メンバーは杏奈・優花・美沙希・愛沙・れいか・もなかの6名。テスト休み中のメンバーがいて、学生は大変な様子です。まずは『はなれていても』を披露しました。この日のMCは美香ちゃんとスタイリストのスエタカヨーコさんが務め、衣装の話で盛り上がります。制服アイドルが増えているけれど、スカートを押さえて回るのが良いとスエタカさんに、「見せません!」と美香ちゃん(^^;)。最後に『クルクルハンカチーフ』を披露しました。美香ちゃんはシンガーとしても登場して、『あなただけを』『スローバラードのような恋』『あの日を忘れない』の3曲を熱唱。そして森下純菜ちゃんと『Future』『Time travel 107』をコラボしました。そのまま2人でMCも担当して、ガールズトークに花が咲きました。

5月26日は「Happy ThursdayVol.16」。参加メンバーは杏奈・花梨・優花・百加・美沙希・愛沙・れいか・みずき・結菜・もなかの10名。3ヶ月間行われた“Happy Thursday”も今回が最終回とのことで、ぬくもり握手会では「地球最後の日に何をしたい?」をリサーチ。「食べてたい!」とれいかちゃん。あとはゴスロリの服をたくさん買いたいとのこと。「美味しいものをたくさん食べて最後を迎えたい」と杏奈ちゃん。思う存分食べたいそう。だ。「お金全部使い切る」と花梨ちゃん。「寝てたい」と百加ちゃん。みずきちゃんは「美味しいものを食べて、ビッケ(飼猫)と寝て友達と遊びたい」とのこと。「食べたかったものを一気に食べたい」と優花ちゃん。「高級なアイスを食べたい」と美沙希ちゃん。「母とピクニックに行きたい」ともなかちゃん。「モカちゃん(ウサギ)と弟と遊ぶ」と結菜ちゃん。「アニメ見て、全財産でアニメイトでお買い物したい」と愛沙ちゃん。MCテーマは『Happy Thursdayの思い出』。皆勤賞を狙っていたけれど、熱を出して1回休んでしまったのが悔しいと愛沙ちゃん。今年は風邪が流行って大変でしたね。3人しか出なかった回も思い出に残っているそう。ピンクのTシャツで、ポラにサインをして親睦が深まるので第一木曜日が好きと愛沙ちゃん。美沙希ちゃんは第4木曜日。ダンスが最高!とのこと。SKiに入って始めた覚えた『名もなき声に』をHappy Thursdayで歌うことが出来て嬉しかったと結菜ちゃん。2人で司会をやったことが思い出と花梨ちゃん。「Happy Thursday」を略した『H.T.』を「ハムタマゴ」とれいかちゃん(^^;)。優花ちゃんは人の名前を連想したようだ。今回も『もなかの美味しい話』コーナーが開催されます。「自分の可愛いところは?」と聞かれて困る結菜ちゃん。よくわからないけれど、髪の毛が長いところがチャームポイントとか。好きなところも髪の毛だそう。伸びるところまで伸ばしたいと発言して、「将来大変なことに…」と突っ込まれます。「今まで見つけたものすごいもの」は、モカちゃん(ウサギ)の成長の早さ。日に日に大きくなっているそう。みずきちゃんとは、『水ようかんともなかの美味しい話』にパワーアップ(^^;)。最高に美味しいものは「やっぱりお稲荷さん」ともなかちゃん。みずきちゃんは焼き肉が最高に美味しいとのこと。今度一緒に行くことになったらしい。『Happy Happy Birthday』では、今月にお誕生日を迎えるお客さんの中からジャンケンで選ばれた方を祝福して歌います。良い記念になったのではないのでしょうか?



みずき・結菜・もなか・美沙希・れいか
花梨・愛沙・杏奈・百加・優花

6月1日は「みんなの A.I.S.A(第8回)」の公開放送。5組中4番目に登場。参加メンバーは杏奈・花梨・優香・百加・美輝・愛沙の6名。まずは『クルクルハンカチーフ』を披露しますが、イントロ部分でハンカチを落としてしまう美輝ちゃん(^^;)。慌てている場面がしっかりと USTREAM でも配信されてしまいました。事前に落としても拾わなくても良いと言われているとのこと、そのまま手を振って踊っていました。この日の MC はマイク越谷さん。一緒にハンカチを振ってくれていたようです。この曲は部活で頑張っている人の応援ソングですが、この間辞めてしまったと美輝ちゃん。演劇部に所属していたそう。『真夏の夜の夢』を演じたことがあるそうで、「やってみて」と振られますが、「無茶振りはやめてください」と断る美輝ちゃん(> <)。今度は SKi の舞台で見せてください。夏休みの予定は、「特訓があります」と杏奈ちゃん(^^;)。ライブにツアーと大忙しのようですね。最後は『恋・青春・少女』を披露しました。

6月2日に「Happy Thursday 記念日 Vol.1」が行われました。毎週木曜日に行われていた“Happy Thrsday”は終了してしまいましたが、記念日として、毎月第一木曜日(祝日の場合は第二木曜日)に開催されるとのこと。参加メンバーは杏奈・花梨・優花・百加・美沙希・美輝・愛沙・結菜・もなかの9名。今回は SKi の初期から中期の懐かしい名曲を披露します。“Happy Thrsday”恒例の「もなかの美味しい話」も、「もなかの“私が知りたい!”」コーナーになって引き継がれます。まずは愛沙ちゃんが登場。特技の質問では、ピアノが得意で3歳から小六まで習っていたそう。「もう一つ無いですか?」ともなかちゃん(^^;)。いろいろ調べるのが好きで、アニメやアイドルさんの事を調べていると愛沙ちゃん。「3歳の頃の愛沙さん」は、「普通」だったとか。「その時好きだったこと」を聞かれて、「ピアノって事にしておきましょうよ」と愛沙ちゃん。あまり覚えていないようだ。小学生の時は勉強が得意だったそうですが、「もうピークが過ぎちゃった…」とか(^^;)。「今までで1番傷ついたこと」は、いろいろとあるけれど気づかないこともあるそう。「もう1つお願いします」と振られて「もなかちゃんが反抗期なこと」と逆襲(^^;)。好きな動物は猫ですが、飼い猫の“あるたん”も最近反抗期とか。続いて優香ちゃん。特技の質問では、特にないようですが、「これからは絶対音感を特技にする」とのこと。ダンスは好きだけれど、特技ではないそう。「3歳の時の優香さん」は、クレヨンを食べていたことがあるらしい(^^;)。記憶がないけれど母に言われたそうで、創造的には蜂蜜の味がするのでは?と優香ちゃん。小学校の時の成績は、「愛沙ちゃんの間逆」だったとか。最近は数学が得意らしい。今苦手なのは英語と理科。文章にするのが苦手なようだ。「ベッドの寝心地」はあまり良くないけれど、枕が低反発で気持ちいいとか。枕があれば1日中寝られるかもとのことでした。『かわってない わかってない』を披露する前に、コーラスの練習をして、“Happy Thrsday”が公開リハーサルだったことを思い出させます(^^)。最後は『クルクルハンカチーフ』で盛り上がりませんが、ここでも優香ちゃんと百加ちゃんがハンカチを落としてしまいます。優香ちゃんはすぐに拾っていましたが、百加ちゃんはしばらく放置して、振りの流れてゆっくりと拾い上げていました。最後はサイン入りポラ撮影会で、親睦を深めて終了しました。



結菜・もなか・美沙希・美輝
花梨・愛沙・杏奈・百加・優香

今月のきゃ～んぺ～ん

5月28日にイオン浦和美園ショッピングセンター 1F セントラルコートにて「橋本美香 2nd アルバム『グレイトフル・デッドを聴きながら』&制服向上委員会 10thCD『うちまたブギー』発売記念キャンペーン」が行われました。この場所でのキャンペーンは、4月2日に予定されていましたが震災の影響で中止になり、改めて開催されたようだ。まずは美香ちゃんのステージから。ギターの弾き語りで『Memorise』を披露。大切な人との出会いについて創った曲ですが、震災が起きてから別の意味も込めて歌っているとのこと。続いて『グレイトフル・デッドを聴きながら』を披露して、後輩のメンバーにバトンタッチします。SKiの参加メンバーは杏奈・優花・美沙希・美輝・愛沙の5名。まずは『うちまたブギー』で盛り上がります。百加ちゃんが居ないので、杏奈ちゃんがボーカルを取っていました。会場には小さな子供から、お年寄りの方までたくさんのお客さんが集まっていて、特に小さなお子さんたちがノリノリで見ていたようだ。続いてメンバー紹介。今のメンバーは、ショッピングセンターでのオープンスペースで歌うのは初めてのようで、だいぶ緊張している様子です。2曲目は『はなれていても』を披露。3曲目の『クルクルハンカチーフ』では、メンバーに合わせてハンカチを回すお客さん。抱っこされた小さな子供もティッシュを取りだして回していたのが微笑ましかったです。このあたりがオープンスペースならではの光景ですね。最後は『名もなき声に』で締めて終了しました。

また、6月4日もイオン浦和ショッピングセンターでのキャンペーンが行われました。美香ちゃん曰く、先週のキャンペーン終了後に声を掛けていただいたとか。急遽決まったイベントで、美香ちゃんがスタッフを兼ねての開催となりました(^^;)。まずは美香ちゃんのステージから。『グレイトフル・デッドを聴きながら』には、ギター曲とそうでない曲が収録されていると、今回はオケを使用して『あなただけを』と『グレイトフル・デッド』を披露してバトンタッチ。SKiのメンバーは杏奈・優花・百加・美輝・愛沙の5名。最初は『うちまたブギー』を披露。この会場は3階まで吹き抜けになっていて、3階からはほぼ真上から見下ろすかたちになり、メンバーのうちまた具合がよくわかりました。初台 The DOORS も、真上からのカメラがあるとおもしろいかもしれませんね。『Lovely Eyes』に続いて『TVにさようなら』を披露。このショッピングセンターには、ジョーシンデンキが入っていましたが、苦情は来なかったかな？(笑)。最後は『クルクルハンカチーフ』で盛り上がります。「一緒にハンカチを振ってください」と杏奈ちゃん。でも、横で見ていた美香ちゃんは振っていなかったようです(^^;)。終演後はCD購入者対象の握手会が行われ、「英語の発音が良くなっている」と褒められて嬉しそうな美香ちゃん。しばらく英会話教室に行けてなかったのが最近集中的に行っているそう。その成果が現れたのかな？ 逆にハンカチを振っていなかったことを指摘されて苦笑いの美香ちゃんでした。それを聞いて、「ダメですね」と杏奈ちゃん。今度は一緒に振ってくれるかな？ 今回は無事にハンカチを回していた美輝ちゃんと優香ちゃん。DOORSで落とした時は慌てたそう。ダンスが苦手と愛沙ちゃん。少しでも頑張ろうと、激しく踊っている様子です。だからいつも汗がすごいのかな？。ショッピングセンターのライブは初めてと百加ちゃん。緊張していたけれど、小さなお子さんを見て元気が出たそう。

5月24日に初台 The DOORS にて～祝！ボブ・ディラン生誕70周年 初台で風に吹かれてスペシャル～「HAPPY BIRTHDAY DYLAN」が行われ、美香ちゃんが出演しました。和久井光司さんとの司会もすっかりお馴染みです。NOMBRESさんの演奏に続いて美香ちゃんのステージに。NOMBRESさんに、和久井さん・菊池琢己さんも加わって、バンドサウンドでのライブとなりました。まずはディランのカバーで、『あなたを見ていた～All Along The Watchtower～』『I WANT YOU』を披露します。相変わらず「ディラン↑」と語尾の発音を挙げてしまい、「ディラン↓ねっ！」と突っ込まれる美香ちゃんでした。先日、日比谷野外大音楽堂で行われた「アイドル・フェスティバル」の司会も務めた美香ちゃん。最近ビンラディン氏殺害のニュースがありましたが、9.11事件の時に反戦デモで日比谷野外大音楽堂で歌った曲『World Peace Now』を披露します。「さすがアイドルの皮を被った政治団体」と和久井さんが言うと、「メッセージをアイドルが発信してはいけないんですか？」と反論する美香ちゃん。アイドル・フェスティバルでは異色だったかもと付け加えると、「何処へ行っても異色ですよ」と和久井さん。でも否定しているわけではないのでご安心を(^^)。アイドルとして誇りを持っていると美香ちゃん。これからの活動も注目ですね。最後は『グレートフル・デッドを聴きながら』を披露して司会業に戻りました。

6月6日に初台 The DOORS にて～女性シンガー・ソングライター LIVE～“月が輝くように”「Shinin' M-onday Live vol.2」が行われ、美香ちゃんが出演しました。すっかり和久井光司さんとの司会も恒例になって、「井上順・吉村真理の様」と和久井さん(笑)。今回は美香ちゃんの他に香蓮さん、玲里さん、小川さやかさんが参加。和久井さんが声を掛けての出演になったようだ。そのなかで、シンガー橋本美香はトリを務めます(^^)。今回も菊池琢己さんのサポートを受けての弾き語りスタイル。まずは『オリーブの樹の下で』を披露。改めて初めてのお客さんに向けて自己紹介を(^^;)。15歳の時に制服向上委員会に入って、清く正しく美しくをモットーに制服の向上と唱歌の再発見をテーマに活動しつつ、社会的メッセージを強く発信していて、それが当たり前になったと美香ちゃん。今回も『えらいひと』を披露して反・原発を訴えていました。歌い終わって、「ちょっと水を…」とコロッと変わって可愛らしく言うところも美香ちゃんの魅力なのでしょうか？(^^) 続いて『Memorise』を披露しますが、そのまえにチューニングを。喋りながらチューニングされるアーティストの方もいらっしゃると思いますが、「私は出来ないで少々お待ちを…」と美香ちゃん(^^;)。精進が必要です。その後も『沈丁花の詩』『グレートフル・デッドを聴きながら』『HEY!HEY!HEY!』と続けます。最後は出演者全員で『唄わずにはいられない』を披露してフィナーレとなりました。

ちいさなしでかし

福島第一原発の事故を受けて、各地で反・原発デモが起きていますが、遂に SKi でも反・原発ソング『ダッ！ダッ！脱・原発の歌』を発表。YouTubeにもUP (<http://www.youtube.com/watch?v=ByP8m3XOZdw>)されて、かなりの反響を受けているようだ。

今月の特集

～芸能生活 5 周年記念アンケート～

2006 年 6 月 25 日に行われた LR で
の新人紹介イベントで SKi デビュー
した小川杏奈ちゃんと清水花梨ちゃん。
今年で 5 周年を迎えたのを記念して
アンケートに答えてもらいました。



清水花梨



☆今年の 6 月で芸能生活 5 周年を迎え
ましたが現在の心境はどうですか？

すごく不思議です！まだ 1 年しかい
ないような感じです。美香さんみたいに
素敵な先輩になれるようがんばります。

☆ 2006 年 9 月に制服向上委員会がグル
ープを卒業することになっていたにも
関わらず、それでも制服向上委員会に
入ったことについて、その当時の心境
を教えてください。（卒業前に新人さん
としてお二人が入ってきてくれたこと
については、とても感謝しているところ
ですよ～。）

事務所からは、「SKi がグループを
卒業をしますがご心配でなく」と言
われていたのが、これからがとても
楽しみでした。

☆この 5 年間でお二人は、いくつかの
ユニットに所属して活躍してきました
が、どのユニットが 1 番好きですか？

その理由は？また、もし、これまで所
属したことがないユニットに入れると
したら、どのユニットに入りたいです
か？

寿隊が 1 番好きです。歌も振りも
かっこよくて大好きです。もし入れる
なら Hellow に入りたいです。衣装も
かわいいし♡

☆あなたにとって「制服向上委員会」
とはなんですか？

生活の一部です。少し休んだけで変
な気がするし、SKi なしの生活はあり
えません。

☆この 5 年間で成長したと思うところ
はどこですか？

まずは身長！今でも小さいけど、入
った頃と比べれば大きくなりました。
そして、たくさんの事を乗り越えてき
た心◇◇激しい事を言われても自分の
ためだと思いめげずにがんばってきました。

☆最後にファンの人にメッセージをお
願いします？

このような素敵な機会をつくってく
ださり本当にありがとうございます。
こんな私ですが、これからも歌にダン
ス、MC などなどががんばっていきます
ので応援よろしくお願いします。本
当にありがとうございました。

小川 杏奈



☆今年の6月で芸能生活5周年を迎えましたが現在の心境はどうですか？

正直、ここまで続けられると思っていなかったです。でも、自分の本当に好きなことを見つけ5年続けられたことはなかったもので、5周年を迎えられたことは本当に嬉しいです。今日まで支えてくれた家族や高橋さんや美香さんをはじめとするメンバー、スタッフさん、そしてファンみなさんに感謝しています♪ありがとうございます！

☆2006年9月に制服向上委員会がグループを卒業することになっていたにも関わらず、それでも制服向上委員会に入ったことについて、その当時の心境を教えてください。(卒業前に新人さんとしてお二人が入ってきてくれたことについては、とても感謝しているところですよ～。)

SKiに入った時は、色々よくわかってなくて…。ファンの方に握手会で「SKiが卒業するの悲しい」と言われた時は、何を答えていいのかわからなくて、ドキドキしていました。でも、これからここで頑張るんだ！という思いがあったのでとまどったりはしませんでしたね！

☆この5年間でお二人は、いくつかのユニットに所属して活躍してきましたが、どのユニットが1番好きですか？その理由は？また、もし、これまで所属したことがないユニットに入れるとしたら、どのユニットに入りたいですか？

好きなのは、寿隊ですかね☆ソロライブで、1人寿隊をやるぐらいの人ですから～(笑)でも、今まで所属したユニット、それぞれの良さがあるのでいろんな自分をみなさんに見て頂けたのではないのでしょうか♡入るとしたら… Hellow ♪あと SKiP もいいかな～♪

☆あなたにとって「制服向上委員会」とはなんですか？

一言では、うまく表現できませんが…私の青春ですからね♡辛いことも悲しいことも大好きな仲間と乗り越えてきて、嬉しいこともたくさんあったし、今でも忘れられない思い出がたくさんつまっているから。きっと、人生を振り返った時、一番キラキラしてて楽しかったのは SKi で過ごした5年間と胸をはって言えます！(卒業しちゃうみたいなコメントになっちゃった)。この大好きな場所で6年目もがんばります！

☆この5年間で成長したと思うところはどこですか？

責任感は強くなったと思います！グループをまとめていこうと思うリーダーシップもとれるようになったかな。歌やダンスやMCは5年やっているのにもかかわらず成長が遅くて申し訳ないですが、こんな私を見捨てないで頂けたことに感謝して。大器晩成という言葉信じてレベルアップを目指します！

☆最後にファンの人にメッセージをお願いします？

SKiに入った頃は、とにかく人見知りで大人しかったので、ファンの方とも緊張しすぎて話せなかったり。本当、今さらですが、すみません。きっと、5年も続けられると思ってなかった方も多いのでは…?! でも、みなさんの優しさに支えられ、今日まで頑張ることができました♪ 本当に、ありがとうございます!!! 10周年も盛大に祝って下さいね～♪

小川杏奈ちゃん5周年をお祝いして

(伊勢)

小川杏奈ちゃんは、2006年6月にLRでのFCイベントでデビューしました。デビュー当時の杏奈ちゃんは、目立たないで人見知りする娘でした。同期の花梨ちゃんとは、よく励ましあったそうです。杏奈ちゃんは小学校1・2年生のときにパナソニックのCMに出たことがあるそうで、経験者ですね。デビュー当時は、聞いている人が元気になるような歌手になりたかったそうです。今の杏奈ちゃんですね。初めてのFCツアーは諏訪湖でした。このとき、体調不良で休む場面もありましたが、頑張って参加した根性は今につながっていると思います。2009年9月に制服向上委員会卒業公演に杏奈ちゃんは出演しました。当時、ここで頑張るんだという思いがあったので杏奈ちゃんは戸惑ったりしなかったそうです。SKiで頑張るという根性がすごいです。杏奈ちゃんの初ボーカル曲は、『恋をしようよ』でした。杏奈ちゃんの可愛さが出てましたね。当時は、すごく緊張したそうです。杏奈ちゃんの特技は“走ること”で、スポーツ大会のメンバー対抗で1位になった事で認知されました。その後、スポーツ大会全体でも1位になりました。杏奈ちゃんがデビューの頃に所属していたユニットは“An・Re・NA”でした。池田伶奈ちゃんとのユニットで、EMT路線を引き継いだものでした。初めて聞いたときはびっくりしたそうで、新人の伶奈ちゃんとのコンビで私がしっかりしなきゃと思ったそう。この頃から責任感が杏奈ちゃんにつき始めたのかな。もう一つ所属していたのが“高品位美少女倶楽部”でした。このユニットは、太ってはいけないようで、制服が着れなくなるという理由だからだそうです。体型維持が大変かな。デビューから今も所属しているユニットが“寿隊”でした。2007年は、寿隊としてライブに出演して多くのアイドルと共演して良い経験になったそうです。ソロライブで10曲連続寿隊の曲を披露して1人寿隊やりましね。杏奈ちゃんの好きなユニットは寿隊だそうです。

そして、杏奈ちゃんなくてはならないユニットは、2009年3月に結成された百加ちゃんとの“angel♡”でした。杏奈ちゃんのSKiの活動において代名詞のアイドルユニットです。人気もあり衣装も可愛いです。いろいろなアイドルライブに出演していきます。“angel♡”のポーズはいつも可愛くって、ファンに好評でした。2009年に「勝ち抜き!アイドル天国!!ヌキ天」で杏奈ちゃんは2週勝ち抜きました。杏奈ちゃんのアイドルとしての実力を証明したものでした。2010年4月にロック・ミュージカル『アイダ公演』でアイダを演じました。杏奈ちゃんの役者としての道も開かれた作品でした。また、2010年9月に初作詞曲『はなれていても』を披露します。親友との別れを切々描いている詞が好評で杏奈ちゃんの才能がまた開花したものと言えます。杏奈ちゃんにとって、人生において大きな事が制服向上委員会9代目リーダーへの就任だったのではないのでしょうか。もう、杏奈ちゃんしかいない感じでした。リーダー就任によって杏奈ちゃんはもっと成長して大人への修練を身につけるでしょう。そして、杏奈ちゃんは、SKiのメインボーカルとして活躍していくのである。今まで美香さんが歌ってきた曲を杏奈ちゃんにバトンタッチされていきます。杏奈ちゃんは、制服向上委員会では、なくてはならない人になっています。今後、リーダーとしてメンバーをまとめてさらに活躍していくでしょう。杏奈ちゃんの5周年を心からお祝い申し上げます。



清水花梨ちゃんも、2006 年 6 月に LR での FC イベントでデビューしました。デビュー当時は、10 歳で可愛い幼い小学生で目立たない娘でした。花梨ちゃんは、マルエツの CM に出たことがあるそうです。経験者だったんですね。デビュー当時の夢は女優で相武紗季さんを目指しているとのこと。制服ファッションショーのオーディションを受けたけれど、身長が合わなくて出れなくて、SKi を勧められて入ったそうです。FC ツアーは、諏訪湖へ行ったのが初めての参加でした。2006 年 9 月に SKi の浴衣の撮影会に出演しました。可愛らしい浴衣姿を披露します。また、同年 9 月に行われた制服向上委員会卒業公演に出演して、当時花梨ちゃんの心境は SKi がグループを卒業してもこれからがとても楽しみだったようだ。当時のイベントで曲の思い出は、初めてポンポン隊で参加した『SKi のテーマ』だったようです。花梨ちゃんがデビュー当時、所属していたユニットが“マリーズ・ショーガール”でした。ブレザータイプでのお披露目で早く大きくなりたいと当時は言っていました。2007 年 3 月に“寿隊”に復帰しました。2007 年は、IDOL RUSH LIVE での寿隊での出演が多く、ステージ慣れたのといろいろなアイドルさんと共演して勉強になったそうです。この頃から仲良いメンバーが優花ちゃん、年が近くて話が合って面白かったようだ。花梨ちゃんは、走るのが速かったです。2007 年 11 月のスポーツ大会のメンバー対抗リレーで、大人の純菜さんのマネジャーを抜いて「まるでミサイルの様」と言われ、花梨ちゃんが足が速いという伝説になりました。2008 年 4 月に LR で花梨ちゃんが党首の“かりん党結成大会”が行われます。花梨ちゃんらしさが出たイベントでした。同年 11 月に初めて花梨ちゃんの 12 歳のお誕生日会が行われました。

花梨ちゃんは、MC が苦手な事や小さい頃は目立ちたがり屋で鼓笛隊の指揮者を努めた事を話しました。2009 年のお誕生日会では、中学生になって電車の切符が大人料金で倍になったのが大きいと言っていました。また、尊敬する人はお母さんでいつも朝早起きしてお弁当を作ってくれたりして感謝しているとのこと。

2009 年頃から花梨ちゃんはライブでコーナーを任せられるようになります。花梨ちゃんの成長の跡が見えます。また、毎年 5 月 5 日に行われるこどもの日公演で園児服を着ますが、花梨ちゃんは地のまま演技して可愛かったです。

2009 年 7 月に結成した花梨ちゃんの代名詞といえるユニットが“Black Angel.”でした。優花ちゃんとのユニットでした。“angel ♡”のライバルユニットで、ライブ・イベントで対決していくのである。また、花梨ちゃんは演劇、ミュージカルにも出演していきます。2009 年 11 月ロックミュージカル『ドン・ジョヴァンニ』で町娘役、2010 年 4 月『アイダ公演』で使者と奴隷役で好演しました。2010 年 8 月に旗揚げした初台少女歌劇団で『傷だらけの青春』でモモ役をやります。花梨ちゃんは、初台少女歌劇団では座長格でいろいろ仕切っていたようだ。SKi の活動とも、今後の活躍が楽しみです。5 周年を迎えてさらなる飛躍が期待されます。花梨ちゃんの 5 周年を心からお祝い申し上げます。



「制服向上委員会」というシステムが（途中中断をはさみこそすれ）19年の長きに亘って継続してきた要因のひとつに、システム全体をつかさどる物語の持続性がある。紀伝体に則っているならば、グループ全体を体系的に束ねる「本紀」（メインストーリー）と、本紀を彩るさまざまなメンバーの語り尽くせないくらい豊富な「列伝」（サイドストーリー）とが絶妙なバランスと組み合わせをもって有機的に紡ぎあげられ、「制服向上委員会」という物語を織り成しているのだ。小川杏奈のストーリーもまた、本紀を彩るに相応しい長編の列伝。

列伝の最初のページは、5年前の夏に遡る。ファーストインプレッションは諏訪湖ツアー。とはいえ、記憶に残ってるのは2日目に熱冷ましを巻く包帯でぐるぐる巻きになっていたことくらい。次の京都ツアーのときもまだおっかなびっくり、すごくおとなしかった印象しかなくて。



彼女のそんな静かで控えめだった SKi でのスタートを横糸に、9月には制服向上委員会がグループとして「卒業」しつつもユニット集団として継続することになったことを縦糸に、小川杏奈と制服向上委員会のストーリーは始まったのだった。

彼女の存在感は、徐々に発揮されてゆく。前年までは毎月あったコンサートが「IDOL RUSH LIVE」になったが故にステージに立って歌える機会が激減している中でも、グループ本体の「卒業」後も次々と入ってくる新メンバーの中に埋もれることなく、初めこそ寿隊の一員に過ぎなかった彼女の歌とステージングは安定感を増して行った。それにつれて、メインやソロでボーカルを取るシーンも彼女にとって2度目の夏を越す頃からは徐々に増えていた。

3年目には初めてのソロライブを堂々とこなすと、その年の暮れにはまずはソロで、そして翌春には“angel♡”で、SKiの外に向けてのアドバランとしても大車輪の活躍を見せ始めた小川杏奈。すっかり SKi の屋台骨を背負ってゆく存在となった彼女と、高橋P曰く“そんな彼女の頑張りにも触発されて”の昨年9月の「制服向上委員会・再始動」。となれば、彼女こそが新生・制服向上委員会のリーダーとなったのも、必然。今ではすっかり立派なリーダーとして新生・制服向上委員会を先陣切って引っ張っている彼女、その堂々たる姿と成長ぶりは、頼もしい限り。

これからもきっとずっと、彼女と制服向上委員会は横糸と縦糸として、物語を紡ぎ続ける。大器晩成タイプの彼女のストーリーはまだまだこれからが本番なのだから。そして何より、リアルタイムでそのストーリーをこれまでも共有できた・これからも共有できる…なんと幸せで嬉しいことか。

5周年おめでとう。そして、制服向上委員会の物語を紡ぐ大事な横糸としてのますますの活躍を、これからも楽しみにしています。

拝啓、清水花梨様。 (PPP)

かんかんが制服向上委員会に入ってはや満5年。入ったときが小学校4年生、今でもまだ中学3年生なせいもあって普段はあんまり意識しないけど、制服向上委員会の現役メンバーでは杏ちゃんと並んで、一番の古株になりました。活動を休止する前の制服向上委員会を知ってるのも、今や、かんかと杏ちゃん（と美香さん）だけなんだよね。

思えば、5年前に SKi に入ってきたときは今よりずっとちっちゃかったこともあって、これから大丈夫なのかな…なんて余計な心配をしたこともあったけど、背も伸びたし、すっかり立派になりました。当初と比べると歌もそうだし、何よりダンスに格段の進歩を見せてるところに、その間の努力が垣間見られて嬉しいのです。寿隊でのびのびと踊ったり、『愛だけじゃハッピー…?』を世界観を壊すことなく感情込めて歌ったり、『世界で一番幸せ』の間奏で堂々と演じたり。最近では、れいれいとのコンビも増えてきたよね。

でもやっぱり一番かんかんらしいのは、“Black Angel.” だと思います。相方のかとり〜ぬとはもう4年以上の付き合いで息もピッタリ、2人での長い手足を存分に生かしてのダイナミックなダンスは、見ていて気持ちいいのです。最近では“Black Angel.” はしばしご無沙汰してるけど、旧・ミッシェルの曲や旧・EMTの曲みたいにハマリ曲も多いので、是非また見たいものです。

反面、ここ一年弱で一気に人数が増えた16期生の煽りを一番食っちゃってるのがかんかなのも事実なんだよね。一通りソツなくこなせる分、どうしてもスーパーサブ的なポジションが多くなってるのは、非常に残念。でもね、スーパーサブが居るチームは強い。野球で言えば代打の切り札にリリーフエースってところかな。チームの戦力層に厚みが増すのです。

最後に。5周年おめでとう。「継続は力なり」、これからもチーム・SKi には、かんかんの力が必要なのです。



芸能生活 5 周年を迎えた杏ちゃん&かんかんへ (たけし〜)

小川杏奈ちゃん(以下「杏ちゃん」と清水花梨ちゃん(以下「かんかん」)のお二人が、この6月で芸能生活5周年を迎えるということで、本当におめでとうございます! もうすぐ制服向上委員会が19年祭を迎えますが、長く続くこのグループで、5周年を迎えたメンバーはわずか5人(橋本美香・吉田梢・星川りりか・片平妃奈子・松尾真冬)しかいないことを考えても、5年という長い年月 SKi の活動が続けていくことは、とても大変なことだと思います。特に杏ちゃんとかんかんの二人が入ってきた5年前の2006年といえば、ちょうど制服向上委員会がその年の9月にグループを卒業するという大変な時期でした。当時ボクは入院していたこともあって、二人がいつ入ってきたのか実は知らなかったりしますが…。ボクが二人のことを知ったのは、夏のFCツアーに参加していた友人から「新人ちゃんが来てるよ」というメールをもらった時でした。しかも1人は、ツアー中に体調を崩したという連絡が(>_<) 後日それが杏ちゃんのことだと知ったのですが、当時小学生だった杏ちゃんが今はもう高校2年生ということで、何だか信じられませんかね(^^;)

ボクが二人を初めて見たのは、8月27日に、今はなくなってしまったこまばエミナースで行われた8月公演でした。初めて見た杏ちゃんは小さかったし、さらにかんかんはもっと小さくて、それがまず初めに思ったことだったけど、驚いたのは、最後のおまけで歌われた『恋をしようよ』のメインボーカルが杏ちゃんだったことで、「この子即戦力だったのか」と1番びっくりしました。ちなみに初めて杏ちゃんとかんかんがボクに出会ったのが何時かきくと覚えていないだろうから、書いておくけど9月10日に行われた浴衣撮影会の時でした。このときは撮影会終了後に握手会があったんで、少しだけ会話もしています。な～んて書いても覚えていないですよ～。

その後、制服向上委員会はグループを卒業したものの、SKi ファミリーとして、翌年から各ユニットとして活動していくことに…。ただボクの方は、体調等々の関係もあって、その後、〇〇ちーと出会うまでは、あまりライブやイベントに参加していないのでどうだったのか分かりませんが、その中でも杏ちゃんは、池田伶奈ちゃんとのユニット“An・Re-NA”として活動していた時に、名古屋と大阪に来てくれたこともあって当時のことが思い出に残っています。この時のことはしでかし2007年9月号を参照してもらおうとして、杏ちゃんの初めての物販で購入した色紙は今も大切に保管していますよ～。杏ちゃんかんかんの二人のあとにたくさん後輩が入ってはすぐに辞めていくことが多い中で、2008年夏に入ったももちーと出会ってからは、せっかく離れていたSKiの現場にいつの間にか復帰してしまい、そのももちーと杏ちゃんの二人が2009年3月に“angeL♡”というユニットを組んだことで、対バンでのライブはあるわ、ヌキ天に出演するわ、杏ちゃんに会う機会が一気に増えてしまいました(^^;)



初のソロ曲『みんなみんな』が発披露されたのもこの時期でいつも元気な杏ちゃんにぴったりのイイ曲でした。だけど、この年は長年 SKi で活動していた先輩たちが（片平妃奈子ちゃんが2月、星川りりかちゃんが6月）卒業したことで、美香ちゃんの次に来るメンバーが杏ちゃん、かんかんということに…。頼りになる先輩が卒業したことで、きっと不安もたくさんあったと思います。そんな状況の中で、かんかんの方も優花ちゃんと“Black Angel.”というユニットを組んでメンバーが少ない中で SKi を盛り上げてくれたと思います。特に杏ちゃんは、ソロコンサートで1人寿隊という、とんでもないことを見事にやってのけてくれて、この子はスゴイと改めて思ったくらいです。DVD 化されていないのがもったいないくらい素晴らしい出来のソロコンサートでした。これも活動の場が広がった成果だったのかもしれないかもしれません。せっかく2週目まで勝ち上がっていたヌキ天が突然終了してしまい、杏ちゃんならきっと勝ち抜くことができていたかもしれないだけに残念でした。2010 年になり、9 月には制服向上委員会が再始動することが決まり、果たして本当に 13 人揃うのかきっと杏ちゃん、かんかんとメンバーもお客さんも同じ心配をしていたと思います。



再始動前には、杏ちゃん初作詞曲の『はなれていても』が披露され、杏ちゃんの友達に対する素直な気持ちが素敵な歌詞になっていました。そんな杏ちゃんが復活した制服向上委員会の9代目リーダーに就任。これには誰も異論はなかったと思います。杏ちゃんは制服向上委員会のグループ卒業という大きな分岐点をかんかんと共に経験し、それから復活するまでの数年間は、たくさんの困難があっただろうし、それ乗り越え、かんかん、優花ちゃん、ももちと一緒にこの SKi ファミリーを引っ張ってきたのだから…。さらに新リーダーに就任した杏ちゃんからももちへの手紙では、ももちの存在がどれほど杏ちゃんにとって大きく、二人の絆がどれほど大きなものか、とても感動したし、突然の「美香さんを会長に…」の発言には杏ちゃんの美香ちゃんに対する想いも感じました。復活時には、10 人だったメンバーも今では14 人に…(執筆現在)。最年少メンバーだったかんかんもその座を後輩に明け渡すことに(∧;)かんかんは目立つキャラではないけど、杏ちゃんを影ながら支えてくれたと思います。昨年頃からかんかんの声が子供の声から大人の声に変わってきていると感じているのはボクだけかもしれませんが、ソロで歌う機会も増えてきているし、きっとこれから増えるんじゃないかなと思います。そんなかんかんはまだ中学3年生。いつだったか、成人したら振袖姿でドアーズに来てツーポラをやりたいようなことを言っていたんですが、それまでにあと5年もあるけど、かんかんならその夢を叶えるんじゃないかなと思います。その時は10周年かぁ。再始動して、まだまだひよっこグループかもしれないけど、きっとこれから杏ちゃんリーダーの下、かんかんと共にさらに素晴らしいグループに成長させてくれると信じています。この数か月、グループ曲を披露できていた頃の先輩がいない中で、再始動後は数々の名曲たちを披露してくれたけど、きっと苦勞の連続だったと思います。SKi にはイイグループ曲がたくさんあるんで、それをこれから復活させてくれることを期待しているし、先に少し書いたけど、5周年を迎えた二人が、まだ美香ちゃんしかたどり着いていない10周年を迎えられるくらい末永く活動してくれることを願っています。

2006



2007



2008



2009



2010



2011



ANNA

KARIN

5年間のキセキ

軌跡

奇跡

2006



2007



2008



2009



2010



2011

